

## 平成 29 年度 第 2 回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成 29 年 12 月 15 日 (金) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分
会場	下蕨公民館 2 階 和室
出席者 (順不同)	上野会長(議長)、松原委員、笹委員、中村委員、宮寄委員、宮田委員、大鷲委員、高野委員、園川委員、舟山委員、長谷川委員、小澤委員 12 名 加納(中央)・岡部(東)・星野(西)・坂本(南)・鈴木(北)・大山(下蕨)・井田(旭町)各館長、松永課長(生涯学習スポーツ課)、瀬口(中央、書記) <合計> 21 名
欠席者	梅田委員、中捨委員、山田委員
主な 添付資料	資料 1、平成 29 年度 第 1 回 公民館運営審議会 会議録(案) 資料 2、平成 29 年度 各地区 生涯学習フェスティバル(実施報告) 資料 3、中央公民館 耐震補強等工事後の施設の利用再開と仮事務所での予約申込受付について 資料 4・5、平成 29 年度 蕨市生涯学習活動推進事業
<b>会 議 内 容 (要 旨)</b>	
<p>&lt;公民館運営審議会&gt; 午前 10 時 00 分 開会</p> <p>1、開会 ※傍聴希望なし 2、上野会長あいさつ 3、議 事</p> <p>①前回会議録の承認 資料 1『平成 29 年度 第 1 回 公民館運営審議会 会議録』(案)を承認</p> <p>②報告事項 (1)平成 29 年度各地区 生涯学習フェスティバルについて 資料 2『平成 29 年度 各地区 生涯学習フェスティバル(実施報告)』に基づき各館長から説明。</p> <p>(参加者数・日程について) 委 員：『参加者について』、延べ人数でなく、体感として実質の人数はどの程度か。 事務局：館によってはこうした延べ人数とは別に、入り口で来館者数を、別途カウントしているところもあって、その人数からすると延べ人数の半分から 6～7 割程度といった印象である。 委 員：『各地区の開催日程』を前後の週にずらすと、他の地域の様子も見に行けると思うが、日程変更を検討する考えはないか？ 事務局：開催日程の重複については、以前より指摘をいただいている。この前後の週だけでも、学校の運動会、祭礼、体育協会の支部体育祭など行事が多く、関わっていただく方々への影響がある。また、長年同時期で開催していることから、作品や発表の準備のスケジュールをある程度その時期に合わせて準備している団体もある。日程が重ならないようにというのは重々承知しているが、現実には非常に厳しい。</p>	

委員：近い公民館が合同で、1館で開催するというのはどうか。複数の地区で活動している人の出演が重複しても対応ができるし、合同で実施すると賑わいも増すと思う。

委員：他の地区へも出演できるよう調整ができれば、日程については重複してもよいと思う。地区ごとに開催されれば、その地域の活性化になる。

委員：秋には行事が多いので、案として5月に日程を移してはどうか。また、今年度の内容で、新しい催しに取り組んでいる地区があることはとてもよかったと思う。

委員：淘汰されて今の日程になっている。各地区の事情や、各地区に合ったフェスティバルが開催されていると思う。出演が他地区と重なった場合は、最終的には個々の本人が優先順位をつけるしかない。

#### (フリーマーケット・模擬店について)

委員：『錦町地区のフリーマーケットと模擬店の参加者』が1,300人と多いが、何か工夫をしているのか。

事務局：錦町地区は受付を西公民館の中に設けていて、そこへ向かう通路でフリーマーケットと模擬店を開催している。そうした会場の作りから、受付の前にフリーマーケットや模擬店を通るようになっている。そのため、集計上はこのようにまとめている。

#### (クラブのPRについて)

委員：クラブ活動の成果発表と作品展示に人が多く集まっている一方、『クラブの会員数は減っている』という話を聞く。公民館のなかだけで募集してもPRの効果が薄いのではないか。広報蕨でも募集すると思うが、募集の記事を見ることが少ない。

事務局：「情報ダイヤル」というコーナーが広報蕨にあり、募集や催しのお知らせができる。会員増対応の一つではあるが、掲載が月ごとの単発になり、時期が過ぎると忘れられてしまうこともある。また、委員のおっしゃるとおり、館内でのみのPRにも限界がある。他の公共施設に募集のチラシを配架するといった団体もあるが、一気に会員が増加するのは難しいので、粘り強い取り組みが必要。

また、駅前の「くるる」の中にある「蕨ネットワークステーション」でも、そういったPRをしている。ホームページといった従来とは違うPRの手法にも力を入れてもいるので、そういったところへ情報提供もしつつ、館でも会員増のお手伝いをしていきたい。

委員：「蕨ネットワークステーション」では、会員を募集したい団体を集めて、年に1回「ボランティア見本市」という催しを行っている。団体のPRや体験コーナーも設けるので、団体の会員の顔も見える。「長年、固定した会員で活動しているような団体には入りづらい」、「どんなことをしているのかわからない」といった声も聞くので、活動を実際に体験できる場を設けるのはよいと思う。来年は6月16日に行う予定で、これから社会教育関係団体へは参加のお声掛けをする。

委員：昨年、生涯学習フェスティバルで行った体験コーナーを通してクラブに入会してくれた事例があった。発表だけでなく、体験できると、そのクラブのこ

とがよくわかるので、そういう機会があるとよい。

委員：旭町の生涯学習フェスティバルでは体験コーナーがあり、体験を通して「これなら自分にもできる」という方もいた。

委員：中央でも生涯学習フェスティバルの中で公開講座を行う機会を設けていて、見に来てくれる方もいる。ただ募集要項（チラシやポスターなど）を置くだけでなく、体験してもらうのが効果的。どの館も工夫はしている。公民館まかせでなく、クラブの会員自身が口伝えなど、PR活動をしていくことが必要。

委員：各クラブが本当に会員を増やしたいと思っているかどうかも大切。東公民館の事例として、「ぷらっとわらび」に会員募集チラシを掲示させてもらったクラブがあった。他にも公民館報でクラブを紹介したり、生涯学習フェスティバルでは各クラブがPRのポスターを掲示したりと、クラブを知ってもらう機会になっている。

#### (人数集計について)

委員：地区によって同じ内容の催しでも人数に差がある。たとえばフリーマーケットがそうだが、なぜ差があるのか。

委員：実数と延べ人数の違いかと思う。

委員：塚越の市民公園で春に行っている「さくらまつり」のフリーマーケットの様に、多くの来場者が集まるものもある。内容にもよると思う。

委員：カウント方法が違っていると比較判断が難しい。

委員：その地区のやり方によって実数でカウントしやすいもの、延べ人数でしかカウントしづらい状況がある。催しのやり方にもよる。

#### (その他)

委員：来年は小学校の運動会は9月22日の開催予定。人数のカウントの方法は難しいと思うが、各学校の子どもたちも作品展示や活動発表の場として多くが参加もしており、また、楽しみにしているので、今後もフェスティバルや館の事業を続けていただきたい。

委員：学校と公民館の連携はどのようか。

事務局：子どもの行き来はそれぞれの館である。夏・冬などの子ども向け講座では学校を通じてチラシをお配りしている。また、放課後に公民館へ子どもが遊びにきてにぎやかな館もある。ほかにも、不審者情報の共有や、下校時のパトロールを実施しているところもある。

フェスティバルに関しては南公民館は、第一中学校の生徒が、毎年、催しの手伝いにボランティアとして来てくれている。

委員：各学校の評議員会は各館の館長が委員に入っているところが多い。“人口1万人に対し公民館が1館あるのが理想”と言われるが、蕨は理想の状況。各館ともバラエティーに富んでいて、色々なアイデアを盛り込んで運営されている。

#### (2) 中央公民館 耐震補強等工事後 施設の利用再開と仮事務所での予約申込み受付について

資料3『中央公民館 耐震補強等工事後の施設の利用再開と仮事務所での予約

申込受付について』に基づき事務局から説明。

～特に質問等なし～

### ③報告事項

#### (1) 平成29年度 蕨市生涯学習活動推進事業

資料4・5『平成29年度 蕨市生涯学習活動推進事業』に基づき事務局から説明。

～日程は平成30年3月21日（祝）か3月24日（土）を開催候補日とし、催し内容など詳細は、今後、発足されるこの事業の実行委員会に諮って決定することとなった。

### ④その他 各委員から

委員：他市の状況を見ると、公民館の利用に使用料がかかっている。蕨市も使用料をとってはどうか。また、空いている部屋の予約をインターネットで行えるようにしてはどうか。

委員：使用料については無料ではなく、社会教育関係団体は減免されているだけ。過去に全面有料化についての検討が、各地区の生涯学習連絡会やクラブ協議会でされたことがある。その際には各生涯学習連絡会から教育委員会に申し入れをしたこともあり、今の取り扱いとなっている。有料になって活動が減ることは地域力の衰退にもつながる。使用料については現在の減免適用をご理解いただきたい。

事務局：インターネットでの部屋の予約については、今のところ具体的な動きはない。蕨市でもスポーツ施設を中心に予約システムが導入されている。現在の予約方法のメリットとして、希望が重なった際に調整が効くといった点が挙げられる。ネット予約だとそういった調整ができづらい。一方でインターネットの便利さもある。将来的には時代の流れで導入検討もあるかもしれないが、現状では予定はない。

委員：利用者にインターネット予約についてアンケートをとったことはあるか。すべてをインターネット予約にと言っているのではなく、来館者の予約優先は当然のことと思っている。例えば、予約可能な初日は、来館と電話のみの受付として、2日目以降はインターネット予約ができてよいのでは。

事務局：市全体としてインターネット予約について利用者の方々へアンケートをとったことはないが、時折、話題として耳にすることはある。その際、錦町では「現在の予約方法がよい」という声の方が多かったことがある。

委員：利用者懇談会などで意見を聞いてみてはどうか。

委員：他市で導入していて、蕨で出来ない理由はあるのか。

委員：予算もかかるのが問題のひとつでは。

委員：導入費用はどの程度かかるのか。

事務局：具体的な金額は算出したことはないが、導入へのご意見は受け止めたい。

## 5、閉会